

次世代育成委員会

委員長 中野 創 太

委員会報告

2018年度次世代育成委員会は、子ども達の健全な育成を目的として、地域資源を活用した次世代育成事業を2回実施しました。また、担当例会では同様に地域資源に着目した内容とし、地域活性化に貢献できるメンバーの資質向上を目的として事業を開催しました。

第1回次世代育成事業は、県内外12チームのミニバスケットボールチームからの応募があり、能代山本地域の子ども達が86名、他地域の子も達が78名、そして保護者や引率者を含め約300名の参加をいただき、2日間に渡る宿泊型の事業となりました。1日目は自分の夢を書き入れたTシャツを着用し、天空の不夜城運行に参加し、日本一の高さを誇る城郭型灯籠を間近に感じながら、大きな掛け声とともに力を合わせて4基の小型灯籠を引き切りました。さらに2日目の、能代工業バスケットボール部OBから指導を受けた後に行われた、ミニバスケットボールの交流戦では、子ども達の前日の疲れを感じさせない全力プレーと真剣な姿が会場に溢れていました。この事業を通じて、参加した子ども達が自分の夢に向かって力強く踏み出す心を育むとともに、思いやりや協力することの大切さを実感することができました。また、能代山本の地域資源が持つ魅力を地域内外に対して発信することができました。

第2回次世代育成事業は、公募により集まった子どもとその保護者45人が、郷土料理であるだまこ鍋づくりを食材調達段階から行い、身近に存在する地域資源に触れてもらいました。まずは、参加者が2班に分かれバスで地域内の生産者を訪問し食材を調達しました。そこで収穫や製造などの体験をしたほか、自然と仕事の関係性を聞いたことで、能代山本地域に広がる自然の大切さを感じてもらうことができました。また、訪れた先々では子ども達の楽しそうな笑顔や歓声がありました。そして、再び集まり、集めた食材を使い“だまこもち”や“だまこ鍋”をつくりました。この事業を通じて、子ども達は様々な体験をし、学びを得ることができたことは、積極的に質問する姿勢やノートに聞いたことを書き入れる姿から感じられました。さらに、この地域に存在しているながら、普段の生活ではなかなか触れることのできない地域資源に触れた経験は、子ども達の心の中に思い出として残り、地域を愛する心を育むきっかけとなりました。

3月担当例会は、ワールドカフェという話し合いの手法を用い、地域の魅力に関する3つのテーマについて自由な発想で話し合いました。委員メンバーが話し合いのまとめ役となり、テーマについての意見を出席したメンバー全員から発言してもらいました。そして、同じグループのメンバーはその意見を肯定的に捉え、さらに発展させた意見を出し合ったことで、個々に自分とは違う視点や価値観に触れ、地域の魅力について新たな“気づき”を得ることができました。また、メンバーの積極性や互いの理解を深めることもできました。

5月担当例会は、八戸せんべい汁研究所所長・木村聡氏を講師にお迎えし、一般聴講者を受け入れる形で講演会を開催しました。そして、当初八戸市民にとって粗末な食事というイメージだったせんべい汁に着目し、市民を巻き込みながら八戸を代表する名物料理にまで成長させた経緯を、自身の想いや重要なポイントの説明を交えながらご講話していただきました。この例会を通じて、能代山本の地域資源を活用して地元を元気にするためのヒントを数多く得られました。また、市民の方々が我々の活動に参加してくださったことで、我々の運動への理解を深められたと考えています。

9月担当例会は、能代市の地域資源であり、事業においても活用することの多いバスケットボールを、メンバー自身がプレーしました。家庭、仕事、JCと多忙な日々を送るメンバーが体を動かし汗をかけたことで、日頃の運動不足解消と健康維持に役立つことができました。また、互いに普段の活動では見ることのできない表情を目にしたことで、より一層メンバー同士の親睦が深まり、今後JC運動・活動へさらに積極的に参加することにつながると考えています。

一年間仲間達と手を取り合い、そして、周囲の助けをいただきながら、委員会の担いを全うすることができました。その結果委員一人ひとりの、リーダーとしての資質が向上したことはもちろんのこと、仲間同士の信頼や絆を育むことができました。そして、私たちの運動・活動は、地域の方々のご理解とご協力の上に成り立っていると再確認したことで、その感謝の気持ちを個人または団体として行動に移していく責任があることを確信しました。

事業報告

(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・3月23日	3月担当例会「気づき～地域の魅力を輝かせるために～」	中央公民館	
・5月23日	5月担当例会「今こそ突破せよ!～事例に学び新たな発想へ～」	金勇	○
・8月4・5日	第1回次世代育成事業「2018 能代JCドリームカップ」	アリナス・天空の不夜城会場	○
・9月23日	9月担当例会「能代はバスケットで強くなる」	アリナス	
・10月28日	第2回次世代育成事業 「からだぜんぶで楽しもう～自然がくれる大きな宝物～」	南部公民館	○

決 算

《項目》	《金額》
・3月担当例会 気づき ～地域の魅力を輝かせるために～	4,431円
・5月担当例会 今こそ突破せよ! ～事例に学び新たな発想へ～	105,156円
・第1回次世代育成事業 「2018 能代JCドリームカップ」	749,224円
・9月担当例会 能代はバスケットで強くなる	5,890円
・第2回次世代育成事業「からだぜんぶで楽しもう ～自然がくれる大きな宝物～」	278,420円
合 計	1,143,121円